

別記様式

		担当課	生涯学習課
会 議 の 名 称	令和6年度 第1回鴻巣市文化財保護委員会議		
開 催 日	令和6年7月8日（月）		
開 催 時 間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時50分 閉会		
開 催 場 所	鴻巣市役所本庁舎3階303会議室		
議長(委員長・会長)氏 名	委員長 吉田 哲夫		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	吉田 哲夫 大島 幸雄 満井 康江 小暮 賀子 柳 毅 小野 哲史 水村 孝行 飯塚 好 重田 正夫 (9名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	横山 晋一 (1名)		
事務局職員職氏名	生涯学習課長 清水 健紀 生涯学習課主事 田村 咲希 生涯学習課主事 菊池 耕晏 生涯学習課主事 林 彩也香		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (0名)		
会 議 の 内 容	(議題) (1) 委員の選出 (2) 会議の公開・非公開について (3) 文化財保護委員会議傍聴規定について (報告) (1) 令和6年度文化財関係事業及び予算について (2) 文化財異動調査の結果について (3) 市制施行70周年記念 郷土芸能まつりについて		
	(決定事項など) (議題1) 委員長を吉田 哲夫委員、副委員長を大島 幸雄委員とし、承認された。 (議題2) 会議を公開することで承認された。 (議題3) 傍聴規定について、承認された。 (報告1) 令和6年度文化財関係事業及び予算について、事務局から説明を行い、次のような質問・意見があった。 ・ 5/23に受贈したものはどのようなものか。 →昭和初期の古地図1点と古写真を受贈した。 ・ どの文化財説明板の修繕を行ったのか。 →真福寺にある「不動明王」と「護摩壇両脇机と礼盤」の説明板の修繕を行った。 ・ 廃校になった学校の資料は今どこに保管しているのか。 →今は学校でそのまま保管をしている。校舎の用途が決定したら、生涯学習課で引き取る。 ・ 今後、廃校になった学校の資料の取捨選択は誰がするのか。また、データで残す等コンパクトにして保管するなどの方法は考えているのか。 →生涯学習課 文化・文化財担当で資料を確認する。 コンパクトにして保管するかどうかについては、今は考えていない。 ・ 鴻巣市には収蔵室が不足している。学校の跡地の利用を検討してほしい。 ・ クレアこうのすの埴輪の展示について、パネルの内容の更新を検討してほしい。また、パネルの退色が進んでいるが、修繕するとしたらどの事業の予算にあたるのか。 →文化財保護啓発事業にあたる。クレアこうのすの埴輪の展示に関する修繕等については、前向きに検討したい。 ・ 廃校となった学校について、学校の歴史や文化が見えるよう、資料を残してほしい。		

	・鴻巣は埴輪や人形など誇れるものを持っている。歴史的に見たときに大事にされていると思う。 (報告2)文化財異動調査の結果について、事務局から説明を行い、次のような質問・意見があった。 ・「三島神社古墳」は市内でもかなり状態のいい前方後円墳のため、大事にしてほしい。 ・「鴻巣の木遣り・纏振り・梯子乗り」について、梯子は毎年作り変えるのか。 →毎年作り変えると聞いている。 ・「鴻巣の木遣り・纏振り・梯子乗り」の補助金は、備品に対する補助として交付しているのか。 →活動に対する補助として交付している。 ・「新井稻荷神社の算額」の名称が書かれた柱は川里町時代に建てられたもので、今はその上に「鴻巣市」のシールが貼ってある状態だ。早めに対応していただきたい。 ・所有者に対して異動調査の回答をしているか。 →今年度はまだ行っていないが、順次回答をする予定である。 ・異動調査の今までのデータは残っているのか。 →文化財を保護していくためにデータは残している。 ・「登戸の獅子舞」の後継者不足について、他の無形民俗文化財保持団体も同じ状況だと思うが、無形民俗文化財の保存の支援についてどのように考えているか。 →郷土芸能まつりを開催することで、市内の無形民俗文化財について周知したい。地域で生まれたものを大切にしていきたいが、後継者不足や子どもたちの参加率が下がっているところで、どのように文化財を守っていくか悩ましい。その点については、文化財保護委員の皆様にご意見をいただきながら次の展開を考えたい。 ・獅子舞等の継承は、地域との連携が大切だと思う。 ・修繕等に関する補助金について相談をした文化財保持者の方以外は知らないと思う。周知してほしい。 ・郷土芸能まつりを開催した後にどうつなげるか考えてほしい。 ・獅子舞等の市内無形文化財の年間スケジュールをポスターにして周知するのはどうか。個々の周知は今までもあったが、それでは市内にどんな無形民俗文化財があるのか、知ることは難しいと思う。周知の方法を考えなければならないと思う。 (報告3)市制施行70周年記念 郷土芸能まつりについて、事務局から説明を行い、次のような質問・意見があった。 ・郷土芸能連絡協議会は、どのような方で構成されているのか。 →今年度の郷土芸能まつりにご参加いただける団体で構成されている。 ・文化財保護委員は郷土芸能連絡協議会に参加しなくてもいいのか。文化財保護委員の立場からアドバイスできることもあると思う。次回開催する時のために検討してほしい。 →出演順や内容など、郷土芸能まつりの具体的なことを話し合う会議となっている。これまでは文化財保護委員の方へのお声がけはしていなかったが、今後やり方について検討したい。 ・元の獅子舞が分からないような短さで披露してしまうと、その獅子舞の良さが出てこなくなってしまう。獅子舞の良さが損なわれない形で、郷土芸能まつりで披露してほしい。
配布資料	・次第 ・(資料1)文化財保護委員会議傍聴規定 ・(資料2-1)令和6年度文化財関係事業計画 ・(資料2-2)令和6年度文化財関係予算の概要 ・(資料3)県・市指定文化財異動調査結果(令和6年度)

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。